

<ご意見の原文>

【意見及びその理由】

検討結果等の一覧対応No. (1)

1	<p>「トンネルコンポスト方式」を採用し、これまで焼却処理されていた混在ごみを資源化する企業を以前テレビで知りました。(香川県三豊町 株式会社エコマスター)</p> <p>「ごみ」として処理するしかないとしていたものを「有用物」として活用でき、企業と市が提携し運用していくことで環境やリサイクル、経済など様々な観点からも持続可能な有益な施設だと感じました。</p> <p>経済産業省 近畿経済産業局のHP内「令和元年度廃棄物の排出抑制等に資するバイオマスの有効活用事例調査」事業報告書のPDFデータを添付いたします。ご覧いただければ幸いです。</p> <p>https://www.kansai.meti.go.jp/3-6kankyo/R2fy/biomass_report01.html</p> <p>今回の計画はごみ焼却処理施設の再整備ということでしたが、こういった施設や取り組みも加わるとよりよく住みよい高山市になると思います。</p>
---	---

【意見及びその理由】

検討結果等の一覧対応No. (2)

2	<p>どのような発注方法で発注されるか解りませんが、DB方式での発注と予想しますと、提案ができるのはプラントメーカーのみであり、総合評価方式等でプラントの性能を評価することが一番重要なこととなります。その他の部分として、このような大型工事ですので新型コロナウイルスによって、疲弊した本地域経済を活性化させるために、地元企業への発注等の地元貢献についても評価していただくことが重要と考えます。</p> <p>地元発注の割合によって評価点を変化させるなど、地元貢献の度合いを測る仕組みを作り、なお且つ地域貢献に関する評価点を高くしていただきたい。価格優先で結果地元企業が関与できないような入札方式は、止めていただきたい。技術でなく価格で決まることがないように価格点の仕組み(定量化限度額の設定や低入札調査制度の導入)を構築していただくことを要望します。</p>
---	--

【意見及びその理由】

検討結果等の一覧対応No. (3)

3	<p>過度の価格競争が行われると、安かろう悪かろうの施設になってしまう恐れがあります。又、その事は地元企業にしわ寄せを与える結果になります。行き過ぎた価格競争を防ぐ為に定量化限度額(予定価格に一定の率を掛けた金額以下の入札価格には、全て満点を付与する方式)を設定し、技術提案重視でプラントメーカーを選んで品質を確保して頂きたい。</p> <p>本事業は、高山市における公共事業の中でも50年に一度あるかないかの非常に大規模な事業となり、土木・建築一式業者や専門業者に至るまで、地元企業が参画して作り上げることが大切であると考えます。そういった意味で、地元業者が確実に参画できる入札方式を検討してもらいたい。土木・建築といった業種は、しっかりとした地元要件等を構築され、経審の点数で条件を付ける等、本市に本社がある地元企業が参画できるように配慮して頂きたい。</p>
---	--

【意見及びその理由】

検討結果等の一覧対応No. (4)

4	<p>地元企業への発注をプラントメーカー任せにするのではなく、入札公告で地元企業がプラントメーカーと組んで必ず参画できるような条件を設定して欲しい。また、地元のためにならないので、低入札を防止する仕組みを要望する。</p>
---	---